

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	池田の魅力発見、発信フリーペーパー「いけだいろ」事業		
事業主体 (連絡先)	信州池田活性化プロジェクト「Maple Tree」 Mail:phantom110119@yahoo.co.jp		
事業区分	1、地域共同の推進に関する事業		
事業タイプ	3、教育、文化の振興に関する事業		
総事業費	465,122	円 (うち支援金： 300,000	円)

事業内容

長野県池田町と周辺市町村をフィールドに、フリーペーパーいけだいろの作成と発行を1年とおして行った。発行は平成28年6月、9月、12月、平成29年3月の4度。一部、計画よりも遅れて発行となった回もあったが、概ね計画通り進められた。

6月発行の6号では、特集で山村地域を取り上げた。限界集落か夢の郷かというセンセーショナルな見出しで現実を掘り下げ話題を呼んだ。7号ではこれからの農業と銘打って4名の若手農業者に取材を実施。初の1P全面広告も実施。8号では寺の特集を展開。池田にある3つの寺にフォーカスし寺の新たなあり方や考え方を広めた。9号では、池田町長、副町長への取材を実施。サポーター制度もスタートした。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

目標として掲げていた北安曇地域で新たな地域団体とのつながりを10団体以上作るという点は達成できた。特に、大町市の各種団体(市役所含む)との繋がりを深め地域を超えてイベントなどでコラボすることができた。また、大北に留まらず安曇野市や松本市の団体とも多くつながりコラボすることができた。

目に見える成果としては、昨年度は0だった広告が今年度はいくつか掲載することができた。いけだいろという媒体への信頼が上がり、地域への影響力が増してきたと捉えることができる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度スタートした広告制度や9号でスタートしたサポーター制度の充実を図りたい。記事も金銭面も地域で生み出し継続的に発行できる基盤を整えたい。そして、少しずつ補助金の率を下げ、自主財源で運営できるようになればと思う。また、それに伴い法人格の取得や取材エリアの拡張なども検討していきたい。県の職員の方々にも、ぜひサポーターになっていただきたいです。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【取材風景】

【目標・ねらい】

- ①各種団体をつなぐ役割
- ②地域の知らないことを知る
- ③池田町、大北地域の活性化
- ④世代と地域を超えての情報



※自己評価【B】

【理由】

数字の面では出版部数もページ数も多くなったので、これは評価できる、一方で、大北全体での認知度の高まりがいまいちだった。